級別に取り組む、漢字の問題プリント

漢字ドリル

漢検 2 級

第7巻　練習＋問題

読み、書き、くり返し。

36字

この巻で学ぶ漢字

この巻で取り組む漢字の一部

週 道 遠 里 野 長

練習してから、問題に挑戦

本文 52ページ・答えは各用紙のQRから

diglabo.com

diglabo

漢検の級別配当を参考にした独自教材です。公式問題集ではありません。

2きゅう 7かん たんい1 れんしゅう（1）

なまえ

道

訓 音

ドウ
トウ
みち

・道（みち）
・道路（どうろ）
・水道（すいどう）

部首 道 しんにょう 12画

週

音

シュウ

・今週（こんしゅう）
・来週（らいしゅう）
・週間（しゅうかん）

部首 週 しんにょう 11画

里

訓 音

リ
さと

・里（さと）
・千里（せんり）
・古里（ふるさと）

部首 里 さと 7画

遠

訓 音

エン
オン
とお（い）

・遠い（とおい）
・遠足（えんそく）
・遠回り（とおまわり）

部首 遠 しんにょう 13画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい1 れんしゅう（2）

なまえ

長

訓：なが（い）
音：チョウ

- 長い（ながい）
- 校長（こうちょう）
- 社長（しゃちょう）

部首：長（ながい）
8画

野

訓：の
音：ヤ

- 野原（のはら）
- 野球（やきゅう）
- 野菜（やさい）

部首：野（さとへん）
11画

十

訓：とお
音：ジュウ、ジッ

- 十日（とおか）
- 十月（じゅうがつ）
- 十人（じゅうにん）

部首：十（じゅう）
2画

一

訓：ひと（つ）、ひと、イツ
音：イチ

- 一つ（ひとつ）
- 一年（いちねん）
- 一月（いちがつ）

部首：一（いち）
1画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい1 A

なまえ

/ 14

1. 今(こん)□(しゅう)の給食(きゅう)当番はぼくだ
2. □(えん)足(そく)のおやつを買いに行く
3. 子犬と□(の)原(はら)をかけ回る
4. 夏休みまであと一□(しゅう)間(かん)だ
5. 花を見に□(とお)回(まわ)りして帰る
6. 公園で兄と□(や)球(きゅう)をして遊(あそ)ぶ
7. 知らない人に道を聞かれる □
8. 秋になると里の祭(まつ)りでおみこしが出る □
9. この川は日本で一番長い □
10. 外国(がいこく)からの荷物(にもつ)が十日でとどいた □
11. 信号(しんごう)を見て道路をわたる □
12. 千里の道も一歩から □
13. 図工の絵を校長にほめられた □
14. 名前(まえ)を五十音のじゅんにならべる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい1 A-2

なまえ

/ 14

1. 小学校に入って［いち］年（ねん）がたつ
2. お正月のある［いち］月（がつ）は寒（さむ）い
3. 来（らい）［しゅう］はキャンプに行く
4. 先（せん）［しゅう］の遠足で山に登（のぼ）った
5. 畑（はたけ）の［や］菜（さい）でサラダを作る
6. ぼくは試（し）合で外（がい）［や］をまかされた
7. 遠足（えん）は来（らい）月の二十日だ
8. エレベーターには十人まで乗（の）れる
9. 外の水道で手をあらう
10. この坂（さか）を上るのが駅（えき）への近道だ
11. 古里の友達（だち）から手紙がとどく
12. 山里の小川でメダカをすくう
13. 今年の春に新しい校長が来た
14. 父はサッカークラブの会長をしている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい1 B

なまえ

/ 16

1. 信号(しんごう)を見て □(どう)路(ろ)をわたる
2. 祖父(そふ)の古(ふる)□(さと)は雪国だ
3. 図工の絵を校(こう)□(ちょう)にほめられた
4. □(じゅう)月(がつ)に運動会(うんどうかい)がある
5. おにごっこに□(じゅう)人(にん)があつまった
6. 歯(は)みがきの間は水(すい)□(どう)を止める
7. 雪がとけて山(やま)□(ざと)に春が来る
8. おじさんはケーキ屋(や)の社(しゃ)□(ちょう)だ
9. 今週 から新しい先生が来る □
10. おばあちゃんの家はここから 遠い □
11. 弟と 野原 で四つ葉(ば)のクローバーをさがす □
12. おやつのクッキーを 一つ ずつくばる □
13. 遠足 のおやつを買いに行く □
14. 公園で兄と 野球 をして遊(あそ)ぶ □
15. カレンダーをめくると六月 一日 だった □
16. 音楽会は 来週 の土曜日だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 れんしゅう（1）

なまえ

間

訓	音
ま	カン
あいだ	ケン

・間（あいだ）
・時間（じかん）
・人間（にんげん）

部首 間 もんがまえ 12画

門

訓	音
かど	モン

・門（もん）
・門出（かどで）
・校門（こうもん）

部首 門 もん 8画

雲

訓	音
くも	ウン

・雲（くも）
・雲海（うんかい）
・雨雲（あまぐも）

部首 雲 あめかんむり 12画

雪

訓	音
ゆき	セツ

・雪（ゆき）
・新雪（しんせつ）
・初雪（はつゆき）

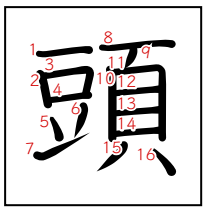
部首 雪 あめかんむり 11画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 れんしゅう（2）

なまえ

頭



訓 音

トウ
ズ
ト
あたま
かしら

・頭（あたま）
・教頭（きょうとう）
・頭上（ずじょう）

部首 頭 おおがい 16画

電

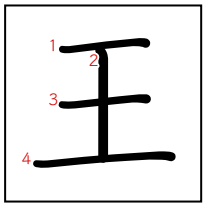
音

デン

・電気（でんき）
・電車（でんしゃ）
・電話（でんわ）

部首 電 あめかんむり 13画

王



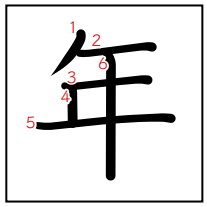
音

オウ

・王（おう）
・王子（おうじ）
・王女（おうじょ）

部首 王 おう 4画

年



訓 音

ネン
とし

・年（とし）
・学年（がくねん）
・来年（らいねん）

部首 年 かん 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 よみのれんしゅう 2

なまえ

門

訓	音
かど	モン

・門（もん）
・門出（かどで）
・校門（こうもん）

部首 門 もん 8画

頭

訓	音
かしら	トウ
あたま	ズ
・先頭（せんとう）	・目頭（めがしら）
・教頭（きょうとう）	

部首 頭 おおがい 16画

間

訓	音
ま	カン
あいだ	ケン
・人間（にんげん）	・時間（じかん）
・間近（まぢか）	

部首 間 もんがまえ 12画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 A

なまえ

/ 16

1. 朝は先生が 校(こう) □(もん) の前に立つ
2. 今年は十一月に 初(はつ) □(ゆき) が降(ふ)った
3. 部屋(へや)を出るときは □(でん) 気(き) を消(け)す
4. おじさんは魚料理(りょう)が 専(せん) □(もん) だ
5. 冬が長い □(ゆき) 国(ぐに) でくらす
6. はじめて一人で □(でん) 車(しゃ) に乗(の)る
7. 木と木の 間 にハンモックをつるす
8. 空を見上げると 雲 が風に流(なが)されていく
9. シャンプーをあわ立てて 頭 をあらう
10. ライオンは動物(どうぶつ)の 王 とよばれる
11. テストでは 時 間 が足りなかった
12. サルは 人 間 によく似(に)ている
13. 山頂(ちょう)から 雲 海 を見下ろす
14. 校長の代(か)わりに 教 頭 が来る
15. 大きな木の枝(えだ)が 頭 上 に広がる
16. おじいちゃんとのしょうぎで 王 手 をかけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 A-2

なまえ

/ 17

1. ぼくと姉(あね)は 学(がく) □(ねん) が二つちがう
2. 来(らい) □(ねん) は海(うみ)に行(い)きたい
3. 運動(うんどう)会の日は 正(せい) □(もん) から入る
4. 兄の高校はサッカーの 名(めい) □(もん) だ
5. 新(しん) □(せつ) が朝日にかがやく
6. ころがすと □(ゆき) 玉(だま) が大きくなる
7. 友達(だち)の家に □(でん) 話(わ) をかける
8. ラジコンに □(でん) 池(ち) を二本入れる
9. ゴールが 間近 に見えてきた □
10. 疲れたら 目頭 を軽く押す □
11. 王子 がガラスのくつを見つけた □
12. 女王 がお城(しろ)の窓(まど)から手をふる □
13. ゲームをするのは一日一 時間 までと決(き)めている □
14. ロボットが 人間 のように話す □
15. たちまち空が 雨雲 でまっくらになった □
16. 朝早く山に登(のぼ)ると 雲海 が見えた □
17. ラーメン屋(や)の行列(れつ)の 先頭 にならぶ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい2 B

なまえ

/ 17

1. テストでは 時(じ) □(かん) が足りなかった
2. 西の空から 雨(あま) □(ぐも) が近づく
3. 校長の代(か)わりに 教(きょう) □(とう) が来る
4. お城(しろ)に □(おう) 子(じ) がすんでいる
5. □(おう) 女(じょ) がきれいなドレスを着(き)る
6. サルは 人(にん) □(げん) によく似(に)ている
7. ゴールが □(ま) 近(ちか) に見えてきた
8. 山頂(ちょう)から □(うん) 海(かい) を見下ろす
9. リレーで兄が 先(せん) □(とう) を走る
10. 友達(だち)の家の 門 の前で待(ま)ち合わせる
11. 夜のうちに 雪 が一メートルもつもった
12. 暗(くら)くなったので 電気 をつける
13. お正月に新(あたら)しい 年 をむかえる
14. 新婚の二人の 門出 を祝う
15. 新雪 が朝日にかがやく
16. 学年 ごとにならんで写真(しゃしん)をとる
17. 線路(ろ)の上を 電車 が走っていく

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 れんしゅう（1）

なまえ

風

風

訓 音

かざ　かぜ　フ　フウ

・強風（きょうふう）　・台風（たいふう）　・風（かぜ）

部首 風（かぜ） 9画

顔

顔

訓 音

かお　ガン

・朝顔（あさがお）　・顔色（かおいろ）　・顔（かお）

部首 顔（おおがい） 18画

首

首

訓 音

くび　シュ

・手首（てくび）　・首都（しゅと）　・首（くび）

部首 首（くび） 9画

食

食

訓 音

く（う）　た（べる）　く（らう）　ジキ　ショク

・食う（くう）　・食事（しょくじ）　・食べる（たべる）

部首 食（しょく） 9画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 れんしゅう（2）

なまえ

高

高

訓 音

コウ
たか（い）
たか（まる）
たか（める）

・高い（たかい）
・高原（こうげん）
・高台（たかだい）

部首 高（たかい） 10画

馬

馬

訓 音

バ
うま
ま

・馬（うま）
・馬車（ばしゃ）
・竹馬（たけうま）

部首 馬（うま） 10画

兄

兄

訓 音

キョウ
ケイ
あに

・兄（あに）
・兄弟（きょうだい）
・兄弟子（あにでし）

部首 兄（ひとあし） 5画

貝

貝

訓

かい

・貝（かい）
・赤貝（あかがい）
・巻貝（まきがい）

部首 貝（かい） 7画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 よみのれんしゅう 2

なまえ

顔

訓	音
かお	ガン

・顔（かお）
・顔色（かおいろ）
・朝顔（あさがお）

部首 顔 おおがい 18画

高

訓	音
たか（める）	コウ
たか（まる）	たか（い）
たか（める）	たか

・高まる（たかまる）
・高める（たかめる）
・高原（こうげん）

部首 高 たかい 10画

食

訓	音
く（らう）	ショク
た（べる）	ジキ
く（う）	

・食らう（くらう）
・食事（しょくじ）
・給食（きゅうしょく）

部首 食 しょく 9画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 A

なまえ

/ 17

1. 先生はみんなの 色（かお）を見て回る
2. おばあちゃんの家で 事（しょく）をする
3. おひめ様（さま）が 車（ば）に乗（の）る
4. すしの 赤（あか）はこりこりしている
5. アサリは 二（に）枚（まい）だ
6. 友達（だち）の 横（よこ）を絵にかく
7. 今日の 給（きゅう）はカレーだ
8. 公園で 竹（たけ）の練習（れんしゅう）をする
9. まどを開（あ）けるとすずしい 風 が入ってきた
10. マフラーを 首 に巻（ま）く
11. 富士山（ふじ）は日本一 高い 山だ
12. 兄 は中学校でサッカー部（ぶ）に入っている
13. テレビで 台風 の進（すす）む道を見る
14. 旅行（りょ）で 首都 の町を歩く
15. すずしい 高原 でキャンプする
16. 町が見わたせる 高台 に立つ
17. いとこの お兄さん と虫取（と）りに行く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 A-2

なまえ

/ 17

1. すなはまで 巻(まき) □(がい) をひろう
2. ホタテの □(かい) 柱(ばしら) をバターで焼(や)く
3. ベランダで 朝(あさ) □(がお) のつるがのびる
4. 友達に 笑(え) □(がお) であいさつする
5. 父は □(しょく) 後(ご) にコーヒーを飲(の)む
6. 母がいそがしい日は 外(がい) □(しょく) する
7. お母さんのそばで 子(こ) □(うま) がねる
8. 神社(じん)にかけられた 絵(え) □(ま) を読む
9. 高まる □
10. 高める □
11. ぼくたちは三人 兄弟だ □
12. 毎朝 兄といっしょに学校へ行く □
13. 夏から秋にかけて 台風がよく来る □
14. 帰り道に 強風 でかさがこわれた □
15. テニスをしたら 手首 が痛(いた)くなった □
16. 水たまりに入って 足首 までぬれた □
17. バスにゆられて 高原 のホテルに着(つ)いた □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 B

なまえ

/ 15

1. テレビで台□の進む道を見る
2. うで時計を手□にはめる
3. すずしい□原でキャンプする
4. □弟でおもちゃを分け合う
5. 海沿いの橋は強□で通れない
6. 体育の前に足□を回す
7. 海で泳いで最□の気分だ
8. 外から帰ったら手と顔をあらう
9. お昼に公園でおにぎりを食べる
10. 北海道で馬に乗ってみた
11. しおひがりで貝をたくさんとる
12. おばあちゃんの家で食事をする
13. 食う
14. おひめ様が馬車に乗る
15. 魚屋さんに赤貝がならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい3 B-2

なまえ

/ 16

1. 道場で□弟子に教わる
2. 正月に親□弟が集まる
3. 赤い□船をふくらませる
4. コートを着て北□の中を歩く
5. 旅行で□都の町を歩く
6. 子犬に赤い□輪をつける
7. 町が見わたせる□台に立つ
8. リコーダーで□音を出す
9. 相手の強烈なパンチを食らう □
10. 貝がらを耳に当てると波の音がする □
11. 岩のすきまに貝がくっついている □
12. 夏休みの宿題で朝顔の観察をする □
13. 近所の店のおじさんとは顔見知りだ □
14. 家族そろって夕食のテーブルをかこむ □
15. 昔は馬車で旅をした □
16. お正月に神社で絵馬を買った □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり3 A

なまえ

/ 24

1. 今□の給食当番はぼくだ
2. □足のおやつを買いに行く
3. 子犬と□原をかけ回る
4. 朝は先生が校□の前に立つ
5. 今年は十一月に初□が降った
6. 部屋を出るときは□気を消す
7. 先生はみんなの□色を見て回る
8. おひめ様が□車に乗る
9. すしの赤□はこりこりしている
10. 知らない人に道を聞かれる
11. 秋になると里の祭りでおみこしが出る
12. この川は日本で一番長い
13. 木と木の間にハンモックをつるす
14. 空を見上げると雲が風に流されていく
15. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
16. まどを開けるとすずしい風が入ってきた
17. マフラーを首に巻く
18. 富士山は日本一高い山だ
19. 外国からの荷物が十日でとどいた
20. ライオンは動物の王とよばれる
21. 兄は中学校でサッカー部に入っている
22. いとこのお兄さんと虫取りに行く
23. エレベーターには十人まで乗れる
24. 王子がガラスのくつを見つけた

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり3 A-2

なまえ

/ 24

1. おばあちゃんの家で□(しょく)事(じ)をする
2. 小学校に入って□(いち)□(ねん)がたつ
3. ぼくと姉(あね)は学(がく)□(ねん)が二つちがう
4. お正月のある□(いち)月(がつ)は寒(さむ)い
5. すなはまで巻(まき)□(かい)をひろう
6. ホタテの□(かい)柱(ばしら)をバターで焼(や)く
7. 来(らい)□(しゅう)はキャンプに行く
8. 先(せん)□(しゅう)の遠足で山に登(のぼ)った
9. 公園で兄と□(や)球(きゅう)をして遊(あそ)ぶ
10. 畑(はたけ)の□(や)菜(さい)でサラダを作る
11. 運動(うんどう)会の日は正(せい)□(もん)から入る
12. おじさんは魚料(りょう)理が専(せん)□(もん)だ
13. □ぼくたちは三人 兄 弟 だ
14. □毎朝 兄 といっしょに学校へ行く
15. □遠足(えん)は来(らい)月の 二 十 日 だ
16. □名前を 五 十 音 のじゅんにならべる
17. □女 王 がお城(しろ)の窓(まど)から手をふる
18. □おじいちゃんとのしょうぎで 王 手 をかけた
19. □外の 水 道 で手をあらう
20. □この坂(さか)を上るのが駅(えき)への 近 道 だ
21. □古 里 の友達(だち)から手紙がとどく
22. □山 里 の小川でメダカをすくう
23. □父はサッカークラブの 会 長 をしている
24. □ものさしでえんぴつの 長 さ をはかる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり3 B

なまえ

/ 24

1. 祖父の古□は雪国だ（さと）
2. 図工の絵を校□にほめられた（ちょう）
3. テストでは時□が足りなかった（かん）
4. 西の空から雨□が近づく（ぐも）
5. テレビで台□の進む道を見る（ふう）
6. うで時計を手□にはめる（くび）
7. すずしい□原でキャンプする（こう）
8. □月に運動会がある（じゅう）（がつ）（うんどうかい）
9. お城に□子がすんでいる（しろ）（おう）（じ）
10. □弟でおもちゃを分け合う（きょう）（だい）
11. 道場で□弟子に教わる（あに）（で）（し）
12. 今週から新しい先生が来る
13. おばあちゃんの家はここから遠い
14. 弟と野原で四つ葉のクローバーをさがす（ば）
15. 友達の家の門の前で待ち合わせる（だち）（ま）
16. 夜のうちに雪が一メートルもつもった
17. 暗くなったので電気をつける（くら）
18. 外から帰ったら手と顔をあらう
19. お昼に公園でおにぎりを食べる
20. 北海道で馬に乗ってみた（の）
21. おやつのクッキーを一つずつくばる
22. お正月に新しい年をむかえる（あたら）
23. しおひがりで貝をたくさんとる
24. 入学したばかりの一年生が校庭にならぶ（てい）

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり3 B-2

なまえ

/ 24

1. 信号(しんごう)を見て□(どう)路(ろ)をわたる
2. 校長の代(か)わりに教(きょう)□(とう)が来る
3. 正月に親(おや)□(きょう)弟(だい)が集(あつ)まる
4. 義(ぎ)□(けい)は高校で数学を教えている
5. おにごっこに□(じゅう)人(にん)があつまった
6. 両手(りょう)のゆびは□(じっ)本(ぽん)ある
7. □(おう)女(じょ)がきれいなドレスを着(き)る
8. 女(じょ)□(おう)が馬車(ばしゃ)で町を通(とお)る
9. 歯(は)みがきの間は水(すい)□(どう)を止める
10. 雪がとけて山(やま)□(ざと)に春が来る
11. 子犬の□(さと)親(おや)をさがす
12. □ カレンダーをめくると六月一日だった
13. □ 雨がふって一日中外(そと)で遊(あそ)べない
14. □ 学年ごとにならんで写真(しゃしん)をとる
15. □ 貝がらを耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする
16. □ 岩(いわ)のすきまに貝がくっついている
17. □ 音楽会は来週の土曜日だ
18. □ おばの家に一週間とまる
19. □ 明日は遠足なので早くねる
20. □ 遠くに富士(ふじ)山が見える
21. □ 打(う)ったボールが外野へ飛(と)んでいった
22. □ 秋の野山が赤や黄色に染(そ)まる
23. □ 帰りの時間に母が校門までむかえに来る
24. □ 遠足の日は正門の前に集(あつ)まる

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 れんしゅう（1）

なまえ

鳥

訓 音

とり チョウ

・小鳥（ことり） ・野鳥（やちょう） ・鳥（とり）

部首 鳥（とり） 11画

魚

訓 音

さかな うお ギョ

・魚市場（うおいちば） ・金魚（きんぎょ） ・魚（さかな）

部首 魚（うお） 11画

麦

訓 音

むぎ バク

・小麦（こむぎ） ・麦芽（ばくが） ・麦（むぎ）

部首 麦（むぎ） 7画

鳴

訓 音

な（らす） な（る） な（く） メイ

・鳴る（なる） ・悲鳴（ひめい） ・鳴く（なく）

部首 鳴（とり） 14画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 れんしゅう（2）

なまえ

黒

訓	音
くろ（い）	コク
黒字（くろじ）	黒い（くろい）
黒板（こくばん）	

部首 黒（くろ） 11画

黄

訓	音
こ	オウ
き	コウ
卵黄（らんおう）	黄色（きいろ）
黄砂（こうさ）	

部首 黄（き） 11画

寺

訓	音
てら	ジ
古寺（こじ）	寺（てら）
山寺（やまでら）	

部首 寺（すん） 6画

同

訓	音
おな（じ）	ドウ
同時（どうじ）	同じ（おなじ）
合同（ごうどう）	

部首 同（くち） 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 よみのれんしゅう 2

なまえ

鳥	鳥	魚	魚	鳴	鳴
	訓 音		訓 音		訓 音
	チョウ		ギョ		メイ
	とり		うお		な（く）
			さかな		な（る）
	・鳥（とり）		・魚（さかな）		な（らす）
	・野鳥（やちょう）		・金魚（きんぎょ）		・鳴らす（ならす）
	・小鳥（ことり）		・魚市場（うおいちば）		・悲鳴（ひめい）
					・共鳴（きょうめい）

部首	部首	部首
鳥 とり 11画	魚 うお 11画	鳴 とり 14画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 A

なまえ

/ 17

1. お祭りでもらった 金 □ を飼う
2. おばけやしきで 悲 □ を上げる
3. 一年生は □ 色 のぼうしをかぶる
4. 二つの学校が 合 □ で遠足に行く
5. 二人が □ 時 にゴールした
6. 海に住む 人 □ のお話を読む
7. 友達の考えに 共 □ する
8. ぬり絵の葉を □ 緑 でぬる
9. 大空を 鳥 が飛んでいく
10. 初夏になると 麦 が金色に実る
11. 父の 黒い かさを借りる
12. 大みそかの夜に 寺 でかねをつく
13. 森で 野 鳥 を観察する
14. この飲み物は 麦 芽 を原料にしている
15. チョークで 黒 板 に字を書く
16. 赤ではなく 黒 字 で書く
17. 木にかこまれた 山 寺 はしずかだ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 B

なまえ

/ 19

1. 朝早くから 小(こ) □(とり) がさえずる
2. パンは 小(こ) □(むぎ) から作られる
3. チョークで □(こく) 板(ばん) に字を書く
4. 夕方に 山(やま) □(てら) のかねが鳴る
5. 昔(むかし)は □(てら) 子(こ) 屋(や) で学んだ
6. ひなが 親(おや) □(どり) からえさをもらう
7. この畑(はたけ)では 大(おお) □(むぎ) を作っている
8. 赤ではなく □(くろ) 字(じ) で書く
9. カラスの羽は □(くろい)
10. ねこが台所(どころ)の 魚 をねらっている □
11. となりの家のニワトリが朝早くから 鳴く □
12. たんぽぽがさいて野原が 黄色 になった □
13. ぼくと兄は 同じ 学校に通っている □
14. お祭(まつ)りでもらった 金魚 を飼(か)う □
15. 朝の 魚市場 はにぎやかだ □
16. おばけやしきで 悲鳴 を上げる □
17. やかんの笛(ふえ)が 鳴る □
18. 大陸から 黄砂 が飛んでくる □
19. マヨネーズは 卵黄 を使う □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい4 B-2

なまえ

/ 16

1. 京都(と)の 古(こ) □(じ) を見て回る
2. この町には古い □(じ) 社(しゃ) が多い
3. 森で 野(や) □(ちょう) を観察(かんさつ)する
4. 池に 水(みず) □(とり) がうかんでいる
5. 水とうに □(むぎ) 茶(ちゃ) を入れて出かける
6. 北海道の広い □(むぎ) 畑(ばたけ) を見に行く
7. お気に入りの力士(し)に □(くろ) 星(ぼし) がつく
8. 図工で □(くろ) 色(いろ) の絵の具(ぐ)を使(つか)う
9. 自転車(てん)のベルを 鳴らす □
10. ぼくと弟は 同時 に手を上げた □
11. サッカーの試合(し)は 同点 のまま終(お)わった □
12. 水そうの中で赤い 金魚 がすいすい泳(およ)ぐ □
13. 絵本に出てくる 人魚 は海の中でくらしている □
14. 朝七時に目覚(さ)まし時計が 鳴る □
15. イチョウの 黄色い 葉(は)がちる □
16. 道ばたに 黄色い 花がさいている □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい5 れんしゅう（1）

なまえ

世

訓	音
よ	セ　セイ

・世界（せかい）　・世紀（せいき）　・世（よ）

部首 世（いち） 5画

丁

音
テイ　チョウ

・包丁（ほうちょう）　・装丁（そうてい）　・丁目（ちょうめ）

部首 丁（いち） 2画

主

訓	音
おも　ぬし　ス	シュ

・主に（おもに）　・主人（しゅじん）　・主（ぬし）

部首 主（てん） 5画

両

音
リョウ

・両親（りょうしん）　・両足（りょうあし）　・両手（りょうて）

部首 両（いち） 6画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい5 れんしゅう（2）

なまえ

予

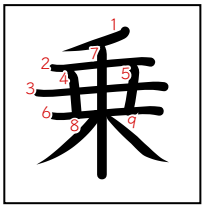
音

ヨ

- 予定（よてい）
- 予想（よそう）
- 予習（よしゅう）

部首 予 はねぼう 4画

乗



訓	音
の（せる）	ジョウ
の（る）	

- 乗り場（のりば）
- 乗車（じょうしゃ）
- 乗せる（のせる）

部首 乗 の 9画

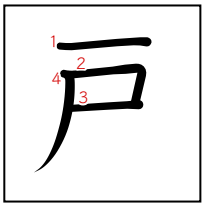
歌

訓	音
うた（う）	カ
うた	

- 歌う（うたう）
- 歌手（かしゅ）
- 校歌（こうか）

部首 歌 あくび 14画

戸



訓	音
と	コ

- 戸（と）
- 雨戸（あまど）
- 戸口（とぐち）

部首 戸 と 4画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい5 A

なまえ

/ 18

1. ぼくの家は三□(ちょう)目(め)にある
2. 石けんで□(りょう)手(て)をよくあらう
3. 前のドアからバスに□(じょう)車(しゃ)する
4. 台風の夜は雨(あま)□(ど)をしめる
5. 包(ほう)□(ちょう)でキャベツを細かくきざむ
6. なわとびを□(りょう)足(あし)でとぶ
7. 電車の□(じょう)客(きゃく)がホームにおりる
8. お客(きゃく)さんを□(と)口(ぐち)で見送(おく)る
9. 世：の中の出来事を毎朝新聞で知る □
10. 駅にわすれた荷物の主：をさがす □
11. 日曜日に公園へ行く予：定：を立てる □
12. おふろで好(す)きな曲(きょく)を歌：う □
13. 今は二十一世：紀：のはじめだ □
14. 地図で世：界：の国を調べる □
15. パン屋の主：人：が朝早く起きる □
16. わたしは主：に：夕食の後で本を読む □
17. 遠足のおやつの予：算：は三百円までだ □
18. 人気の歌：手：が町にやって来る □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい5 B

なまえ

/ 17

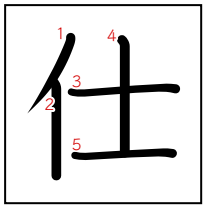
1. 地図で［せ］界（かい）の国を調べる
2. パン屋の［しゅ］人（じん）が朝早く起きる
3. 明日の遠足の［よ］定（てい）を聞く
4. コンサートで［か］手（しゅ）が手をふる
5. 当番で金魚の［せ］話（わ）をする
6. この文の［しゅ］語（ご）に線を引く
7. 運動会の勝ち負けを［よ］想（そう）する
8. 音楽の時間に校（こう）［か］を習（なら）う
9. ふうとうに住所の 丁目 と番地を正しく書く
10. ゴールした走者が 両手 を高くあげる
11. バスの 乗り場 で行列を作って待つ
12. げんかんの 戸 をそっと開（あ）ける
13. 祖父の句集の 装丁 を画家に頼む
14. 前のドアからバスに 乗車 する
15. バスが駅でお客さんを 乗せる
16. 大きな川の 両岸 に家がたくさんならぶ
17. 朝になって 雨戸 を開（あ）ける

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 れんしゅう（1）

なまえ

仕

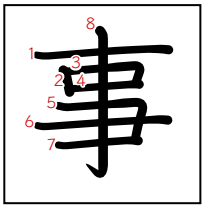


訓	音
つか（える）	ジ　シ

- 仕事（しごと）
- 仕える（つかえる）
- 仕草（しぐさ）

部首 仕 にんべん　5画

事

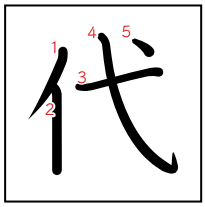


訓	音
こと	ズ　ジ

- 仕事（しごと）
- 火事（かじ）
- 事（こと）

部首 事 はねぼう　8画

代

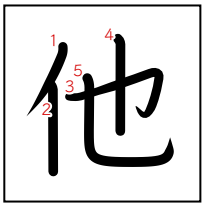


訓	音
か（わる） か（える） よ しろ	ダイ タイ

- 代わる（かわる）
- 交代（こうたい）
- 時代（じだい）

部首 代 にんべん　5画

他



訓	音
ほか	タ

- 他国（たこく）
- 他人（たにん）
- 他（ほか）

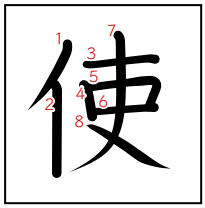
部首 他 にんべん　5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 れんしゅう（2）

なまえ

使

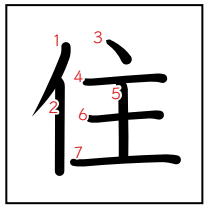


訓	音
つか（う）	シ

- 使用（しよう）
- 使う（つかう）
- 大使（たいし）

部首 使 にんべん 8画

住



訓	音
す（まう）	ジュウ
す（む）	

- 住所（じゅうしょ）
- 住む（すむ）
- 住まう（すまう）

部首 住 にんべん 7画

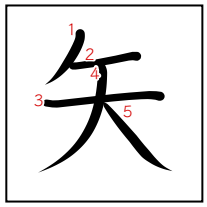
船

訓	音
ふな	セン
ふね	

- 船（ふね）
- 汽船（きせん）
- 風船（ふうせん）

部首 船 ふねへん 11画

矢



訓	音
や	シ

- 矢（や）
- 矢印（やじるし）
- 弓矢（ゆみや）

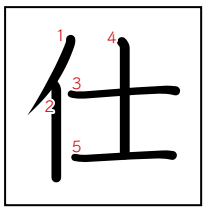
部首 矢 や 5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 よみのれんしゅう 2

なまえ

仕

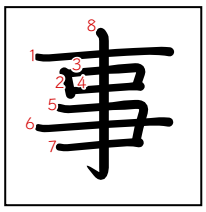


訓	音
つか（える）	ジ　シ

- 仕事（しごと）
- 仕える（つかえる）
- 仕草（しぐさ）

部首 仕 にんべん 5画

事

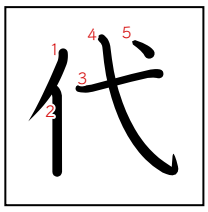


訓	音
こと	ズ　ジ

- 仕事（しごと）
- 火事（かじ）
- 事（こと）

部首 亅 はねぼう 8画

代



訓	音
よ　しろ	ダイ　タイ
か（わる）　か（える）	

- 代物（しろもの）
- 千代紙（ちよがみ）
- 代える（かえる）

部首 代 にんべん 5画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 A

なまえ

/ 17

1. 夜中に近くで 火(か) □(じ) があった
2. □(た) 人(にん) の物を勝手に使わない
3. 手紙のふうとうに □(じゅう) 所(しょ) を書く
4. 駅(えき)では □(や) 印(じるし) の向(む)きに歩く
5. 友達(だち)にもらった 大(だい) □(じ) な手紙
6. □(た) 国(こく) から来た人と話す
7. アパートの □(じゅう) 人(にん) にあいさつする
8. 弓(ゆみ) □(や) をかまえて的(まと)をねらう
9. 子ねこの 仕草 がかわいくて見とれる
10. おじいさんが子供(ども)だった 時代 の話を聞く
11. 図書館のパソコンの 使用 は三十分までだ
12. フェリーという大きな 船 に乗(の)る
13. 若(わか)い家来が王様に 仕える
14. 友達(だち)と 交代 でブランコに乗る
15. 長い運転を母と 代わる
16. 工作の時間にはさみを 使う
17. 昔(むかし)の 汽船 の写真(しゃしん)を見る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 A-2

なまえ

/ 17

1. 父の仕□（ごと）は電車の運転手だ
2. 秋の大きな行□（ぎょう）□（じ）は運動会だ
3. 一方をぼくが、□（た）方（ほう）を兄が持つ
4. 赤と青とその□（ほか）の色
5. 新しい□（す）まいにうつる
6. 森が鳥の□（す）みかになる
7. 家を出た□（や）先（さき）に雨が降（ふ）り出した
8. こいのぼりの上で□（や）車（ぐるま）が回る
9. 九回から投手をエースに代える
10. 千代紙でつるをおる
11. この古時計はなかなかの代物だ
12. おかしの箱の中に紙で仕切りを作る
13. 意地悪をされても仕返しはやめよう
14. 王様がとなりの国へ使者をおくる
15. 主人公が自分の使命をはたす
16. 手をはなすと風船が空へ上がる
17. つりのために父が朝早く船出する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 B

なまえ

/ 15

1. 母は毎日□(し)事(ごと)で帰りがおそい
2. むかしの時(じ)□(だい)のくらしを調べる
3. けむりをはいて汽(き)□(せん)が進(すす)む
4. 時計の□(し)組(く)み を調べる
5. レジで本の□(だい)金(きん)をはらう
6. 風(ふう)□(せん)が割(わ)れて大きな音がする
7. 夏休みに一番楽しかった事を作文に書く
8. 分からないので他の人に聞いてみる
9. 友達(だち)に新しい家の住所を教える
10. 博物館(はくぶつかん)で矢を見る
11. 夜中に近くで火事があった
12. 他人の物を勝手に使わない
13. 山のふもとの小さな村に住む
14. 森のおくに住まうふしぎな動物
15. 博物館(はくぶつかん)で古い弓矢を見る

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん たんい6 B-2

なまえ

/ 14

1. 体育館を□(し)用(よう)する時間を決める
2. 割(わ)り算の□(し)方(かた)を先生に教わる
3. 工作の□(し)上(あ)げをする
4. 友達(だち)と交(こう)□(たい)でブランコに乗る
5. クラスの□(だい)表(ひょう)として発表する
6. 外国の大(たい)□(し)が学校に来る
7. 家族みんなで食事のしたくを手伝(つだ)う □
8. 駅前で大きなビルの工事が始まる □
9. こまっている他人にも親切にする □
10. 船で海をわたり他国へ旅をする □
11. 家族で引っこし先の住まいをさがす □
12. 新しい家の住み心地はとてもよい □
13. ねようとした矢先に電話が鳴った □
14. 矢車がカラカラと音を立てる □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり6 A

なまえ

/ 24

1. 今(こん)□(しゅう)の給食(きゅう)当番はぼくだ
2. 子犬と□(の)原(はら)をかけ回る
3. 朝は先生が校(こう)□(もん)の前に立つ
4. 部屋(へや)を出るときは□(でん)気(き)を消(け)す
5. 先生はみんなの□(かお)色(いろ)を見て回る
6. おひめ様(さま)が□(ば)車(しゃ)に乗(の)る
7. お祭(まつ)りでもらった金(きん)□(ぎょ)を飼(か)う
8. 一年生は□(き)色(いろ)のぼうしをかぶる
9. ぼくの家は三□(ちょう)目(め)にある
10. 夜中に近くで火(か)□(じ)があった
11. 手紙のふうとうに□(じゅう)所(しょ)を書く
12. おばあちゃんの家はここから 遠い □
13. 夜のうちに 雪 □ が一メートルもつもった
14. お昼に公園でおにぎりを 食べる □
15. となりの家のニワトリが朝早くから 鳴く □
16. ゴールした走者が 両手 □ を高くあげる
17. 分からないので 他 □ の人に聞いてみる
18. おやつのクッキーを 一つ □ ずつくばる
19. お正月に新(あたら)しい 年 □ をむかえる
20. しおひがりで 貝 □ をたくさんとる
21. ぼくと兄は 同じ □ 学校に通っている
22. げんかんの 戸 □ をそっと開(あ)ける
23. 博物館(はくぶつかん)で 矢 □ を見る
24. 入学したばかりの 一年生 □ が校庭(てい)にならぶ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり6 A-2

なまえ

/ 24

1. 前のドアからバスに□車(じょうしゃ)する
2. 包(ほう)□(ちょう)でキャベツを細かくきざむ
3. 駅前の細い横(よこ)□(ちょう)を歩く
4. 電車の□(じょう)客(きゃく)がホームにおりる
5. 父の仕(し)□(ごと)は電車の運転手だ
6. 秋の大きな行(ぎょう)□(じ)は運動会だ
7. アパートの□(じゅう)人(にん)にあいさつする
8. 新しい□(す)まいにうつる
9. □カレンダーをめくると六月一日だった
10. □雨がふって一日中外(そと)で遊(あそ)べない
11. □大きな川の両岸に家がたくさんならぶ
12. □大きな水たまりを両足でとびこえる
13. □こまっている他人にも親切にする
14. □船で海をわたり他国へ旅をする
15. □ぼくと弟は同時に手を上げた
16. □サッカーの試(し)合は同点のまま終(お)わった
17. □学年ごとにならんで写真(しゃしん)をとる
18. □ぼくは兄(あに)より四つ年下だ
19. □朝になって雨戸を開(あ)ける
20. □ねこが戸口で待(ま)っている
21. □博物館(はくぶつかん)で古い弓矢を見る
22. □ねようとした矢先に電話が鳴った
23. □貝がら を耳に当(あ)てると波(なみ)の音がする
24. □岩(いわ)のすきまに貝がくっついている

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり6 B

なまえ

/ 24

1. 祖父の古(ふる)□(さと)は雪国だ
2. 西の空から雨(あま)□(ぐも)が近づく
3. うで時計を手(て)□(くび)にはめる
4. パンは小(こ)□(むぎ)から作られる
5. パン屋の□(しゅ)人(じん)が朝早く起きる
6. むかしの時(じ)□(だい)のくらしを調べる
7. お城に□(おう)子(じ)がすんでいる
8. □(きょう)弟(だい)でおもちゃを分け合う
9. 夕方に山(やま)□(でら)のかねが鳴る
10. コンサートで□(か)手(しゅ)が手をふる
11. けむりをはいて汽(き)□(せん)が進(すす)む
12. 知らない人に道を聞かれる
13. この川は日本で一番長い
14. 木と木の間にハンモックをつるす
15. シャンプーをあわ立てて頭をあらう
16. まどを開(あ)けるとすずしい風が入ってきた
17. 富士(ふじ)山は日本一高い山だ
18. 大空を鳥が飛(と)んでいく
19. 父の黒いかさを借(か)りる
20. 世の中の出来事を毎朝新聞で知る
21. 日曜日に公園へ行く予定を立てる
22. 子ねこの仕草がかわいくて見とれる
23. 図書館のパソコンの使用は三十分までだ
24. 昔話でおじいさんがゆめであの世へ行く

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふりかえり6 B-2

なまえ

/ 24

1. □月(じゅうがつ)に運動会(うんどうかい)がある
2. この文の□語(しゅご)に線を引く
3. 日本人の□食(しゅしょく)はお米だ
4. レジで本の□金(だいきん)をはらう
5. 友達(だちと)交(こう)□(たい)でブランコに乗る
6. 道場で□弟子(あにでし)に教わる
7. 正月に親(おや)□(きょう)弟(だい)が集(あつ)まる
8. おにごっこに□人(じゅうにん)があつまった
9. 京都(との)古(こ)□(じ)を見て回る
10. この町には古い□社(じしゃ)が多い
11. 音楽の時間に校(こう)□(か)を習(なら)う
12. 教室に明るい□声(うたごえ)がひびく
13. 風(ふう)□(せん)が割(わ)れて大きな音がする
14. □室(せんしつ)のベッドでねむる
15. 世界一高い山にいつか登りたい □
16. わかい王様が世直しをちかう □
17. 遠足のおやつの予算は三百円までだ □
18. うらないしの予言がぴたりと当たる □
19. おばあちゃんから毛糸の手仕事を習う □
20. おかしの箱の中に紙で仕切りを作る □
21. 王様がとなりの国へ使者をおくる □
22. 母にたのまれてお使いに出かける □
23. 外の水道で手をあらう □
24. この坂を上るのが駅への近道だ □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん かん字のしくみ 1

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
長	野	里	遠	道	週
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
頭	電	雲	雪	間	門
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
高	馬	首	食	風	顔
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん かん字のしくみ 2

なまえ

/ 18

6	5	4	3	2	1
黒	黄	麦	鳴	鳥	魚
部首	部首	部首	部首	部首	部首

12	11	10	9	8	7
予	乗	主	両	世	丁
部首	部首	部首	部首	部首	部首

18	17	16	15	14	13
使	住	代	他	仕	事
部首	部首	部首	部首	部首	部首

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ふたつのよみ

なまえ

/ 24

次の——線の漢字の読みをひらがなで□に記せ。

1. ちこくしそうで 近道 を走った □
2. 弟と 鉄道 の博物館(はくぶつかん)へ行く □
3. おばあちゃんの家はここから 遠い □
4. 久遠 の昔から続く祈り □
5. 千里 の道も一歩から □
6. 山里 の小川でメダカをすくう □
7. 子犬と 野原 をかけ回る □
8. 雨の日は 野外 で遊(あそ)べない □
9. 図工の絵を 校長 にほめられた □
10. ものさしでえんぴつの 長さ をはかる □
11. ホテルのロビーに大きな 門松 が置かれる □
12. 大雨の日は川の 水門 をしめる □
13. 木と木の 間 にハンモックをつるす □
14. せまい 空間 を上手に使(つか)う □
15. 冬休みは 雪国 のおばあちゃんの家ですごす □
16. スキー場のふかふかの 新雪 をすべる □
17. リレーで兄が 先頭 を走る □
18. シャンプーをあわ立てて 頭 をあらう □
19. コートを着(き)て 北風 の中を歩く □
20. 赤い 風船 をふくらませる □
21. おばあちゃんの家で 食事 をする □
22. お昼に公園でおにぎりを 食べる □
23. テニスをしたら 手首 が痛(いた)くなった □
24. 旅行(りょ)で 首都 の町を歩く □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん じゅくごのくみたて

なまえ

/ 20

二字の意味のつながりを考え、合う説明の記号を書きましょう。

- ア 意味の近い二字
- イ 反対の意味や対になる二字
- ウ 前の字が、後ろの字の様子や種類を示す
- エ 後ろの字が、前の字の動作の対象を示す
- オ 前の字が、後ろの字の意味を否定する

1. 週末 □
2. 道路 □
3. 遠近 □
4. 里親 □
5. 野球 □
6. 社長 □

7. 開門 □
8. 時間 □
9. 除雪 □
10. 雨雲 □
11. 停電 □
12. 目頭 □
13. 新顔 □
14. 強風 □

15. 給食 □
16. 首都 □
17. 馬力 □
18. 最高 □
19. 金魚 □
20. 野鳥 □

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん よじじゅくご

なまえ

/ 24

読みを確かめて、□へ漢字一字を書きましょう。

1. 極悪非□ ドウ
2. 深謀□慮 エン
3. 一望千□ リ
4. □心満満 ヤ
5. 不老□寿 チョウ
6. □外不出 モン
7. 行□流水 ウン
8. □光石火 デン

9. 徹□徹尾 トウ
10. 破□一笑 ガン
11. 台□一過 フウ
12. 無為徒□ ショク
13. □尾一貫 シュ
14. 意□心猿 バ
15. 眼□手低 コウ
16. 一石二□ チョウ

17. 百家争□ メイ
18. 懇切□寧 テイ
19. 抜山蓋□ セイ
20. 賛否□論 リョウ
21. □客転倒 シュ
22. 平穏無□ ジ
23. □言無用 タ
24. 新陳□謝 タイ

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ごじをなおす

なまえ

/ 24

次の文にまちがって使われている同じ読みの漢字が一字ある。上に誤字を、下に正しい漢字を書きなさい。

1. 来周はキャンプに行く
   誤 正
2. おばあちゃんに書瞳を習(なら)う
   誤 正
3. 媛足のおやつを買いに行く
   誤 正
4. ぼくは試(し)合で外冶をまかされた
   誤 正
5. ひまわりがぐんぐん成超する
   誤 正
6. 動物(どうぶつ)園の開文を待(ま)つ
   誤 正
7. せまい空歓を上手に使(つか)う
   誤 正
8. 新折が朝日にかがやく
   誤 正
9. 山頂(ちょう)から運海を見下ろす
   誤 正
10. ラジコンに殿池を二本入れる
    誤 正
11. リレーで兄が先棟を走る
    誤 正
12. 古い宿場町に府情が残る
    誤 正
13. 父は嘱後にコーヒーを飲(の)む
    誤 正
14. 漢(かん)字の部種を調(しら)べる
    誤 正
15. このトラクターは罵力がある
    誤 正
16. 海で泳(およ)いで最孔の気分だ
    誤 正
17. 海に住(す)む人漁のお話を読む
    誤 正
18. おばけやしきで悲冥を上げる
    誤 正
19. 大陸から後砂が飛んでくる
    誤 正
20. チョークで酷板に字を書く
    誤 正
21. 祖父の句集の装提を画家に頼む
    誤 正
22. ヨーロッパの中清のお城(しろ)
    誤 正
23. なわとびを糧足でとぶ
    誤 正
24. パン屋の修人が朝早く起きる
    誤 正

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ぶんや れんしゅう1

なまえ

夜

夜

訓	音
よる	ヤ
よ	

・今夜（こんや）
・夜空（よぞら）
・月夜（つきよ）

部首 夜 ゆうべ 8画

円

円

訓	音
まる（い）	エン

・百円（ひゃくえん）
・千円（せんえん）
・円形（えんけい）

部首 円 どうがまえ 4画

秋

秋

訓	音
あき	シュウ

・秋分（しゅうぶん）
・秋風（あきかぜ）
・秋空（あきぞら）

部首 秋 のぎへん 9画

文

文

訓	音
ふみ	ブン
モン	

・作文（さくぶん）
・文章（ぶんしょう）
・注文（ちゅうもん）

部首 文 ぶん 4画

朝

朝

訓	音
あさ	チョウ

・朝食（ちょうしょく）
・早朝（そうちょう）
・朝顔（あさがお）

部首 朝 つき 12画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん ぶんや れんしゅう2

なまえ

東

訓 ひがし
音 トウ

・東京（とうきょう）
・東西（とうざい）
・東口（ひがしぐち）

部首 東 き 8画

田

訓 た
音 デン

・水田（すいでん）
・田畑（たはた）
・青田（あおた）

部首 田 た 5画

原

訓 はら
音 ゲン

・野原（のはら）
・高原（こうげん）
・草原（そうげん）

部首 原 がんだれ 10画

青

訓 あお あお（い）
音 セイ ショウ

・青空（あおぞら）
・青年（せいねん）
・青葉（あおば）

部首 青 あお 8画

工

音 コウ ク

・工場（こうじょう）
・工作（こうさく）
・大工（だいく）

部首 工 たくみ 3画

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10

2きゅう 7かん おなじおんのかんじ

なまえ

/ 24

次のカタカナを漢字に直して、□に記せ。

1. □ シュウ 分 ぶん の日は学校が休みだ
2. □ シュウ 末 まつ は家族 ぞく で山へ出かける
3. 兄と 共 きょう □ ドウ で本だなを作る
4. おばあちゃんに 書 しょ □ ドウ を習う ならう
5. おつりの 百 ひゃく □ エン でアイスを買う かう
6. □ エン 足 そく のおやつを買いに行く
7. 公園で兄と □ ヤ 球 きゅう をして遊ぶ あそ ぶ
8. 大みそかは 深 しん □ ヤ まで起きている おき ている
9. おじさんはケーキ屋 や の 社 しゃ □ チョウ だ
10. □ チョウ 食 しょく にパンを食べる
11. 天 てん □ モン クラブで星 ほし を見る
12. 裏 うら □ モン はいつも閉 し まっている
13. まんが家の □ ゲン 画 が を見に行く
14. サルは 人 にん □ ゲン によく似 に ている
15. 友達 だち の家に □ デン 話 わ をかける
16. 水 すい □ デン にカエルの声 こえ がひびく
17. おばが □ トウ 京 きょう から会いに来る
18. リレーで兄が 先 せん □ トウ を走る
19. 兄は春から □ コウ 校 こう に通う
20. 図 ず □ コウ でねん土のおにを作る
21. マヨネーズは 卵 らん □ オウ を使う
22. □ オウ 国 こく の人たちがおいわいをする
23. 紺 こん □ ジョウ の海が水平線まで続く
24. 前のドアからバスに □ ジョウ 車 しゃ する

KanjiVG © Ulrich Apel (CC BY-SA 3.0) / KANJIDIC2 & JMdict © EDRDG (CC BY-SA 4.0)
Edited by diglabo | Sources & licenses: diglabo.com/ja/kanji/workbooks/credits/pilot-2026-10